



ひろのまち  
福島県広野町

復興

学生・若者の  
活躍

青森

秋田

岩手

山形

宮城

福島



ふくしま けんりつ ふたば みらい がくえん ちゅうがっこう・こうとうがっこう  
⑤福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校  
スペシャリスト系列(商業)3年次

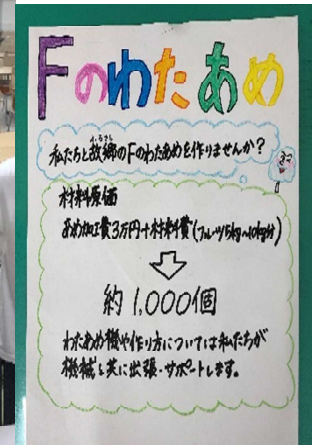
Fから始まる言葉への思い～Fのわたあめ～



剪定等を行い、農家との交流機会を増加  
(左上:パッションフルーツの受粉、右下:ユズの収穫)



地元の果汁を使ったSNS映えするわたあめ



生徒参加の販売PR

令和3年7月15日(木) 14:00-16:00  
鮮場やっちゃば おのぎき平店

生徒による出張販売

令和3年7月16日(金) 13:10-13:40  
さくらモールとみおか 交流広場

令和3年7月17日(土) 13:00-15:00  
道の駅ならば



【浜の輝】を使った  
厚揚ソフトスティック

厚揚ソフトスティック購入の方には、  
富岡町産玉ねぎ【浜の輝】を1つ  
プレゼントします。(先着60名まで)

地元の特産品を地元加工業と協働で商品開発

概要

福島県の復興の姿をみんなに伝えるために、ソーシャルビジネスの実践を高校生が行っている。

取組の効果

【農家と若い世代の交流】

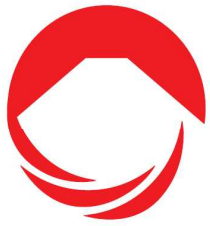
震災前より第1次産業を支えてきた農業が停滞し、地域6次化商品は激減したため、高校生が学習しているビジネスを、地域での交流を通して商品化を行っている。その一環で、若い世代をターゲットとした、中学生への収穫ツアーの実施や剪定・摘果・受粉といった農作業の体験を企画実践している。

【産業間の交流】

地元富岡町産の玉ねぎを使った蒲鉾を地元企業と共に開発した。また、開発した商品を地元鮮魚店での店頭販売やネット販売に結び付けた。

【新商品の開発】

イベント等に出店し、アピールするための商品として、高校生が剪定、摘果、受粉、収穫した果実で作る【Fのわたあめ】を開発した。



青森県弘前市 ひろさきし

6次産業化

地域活性化

★青森

秋田

岩手

山形

宮城

福島

のうぎょうせいさんほうじん ゆうげんがいしゃ あねっこ  
**⑥農業生産法人 有限会社ANEKKO**

みんなが笑顔で集まる地域の交流拠点！



平日も来客で賑わう農産物直売所「野市里」



市民農園「向日葵」での収穫体験



旬の嶽きみを加工し作られたお菓子や焼酎等

取組の効果

- ①直売所「野市里(のいちご)」の運営  
 「華クラブ」会員が生産した野菜、果物、手芸品等を主に仕入れ、提供。規格外や余剰生産物を所得に変える他、お客様に食べ方をアドバイスし売上げを伸ばしている。
- ②レストラン「こざくら」の運営  
 勇壮な岩木山や田園風景を眺めながら、主に地元産の四季の食材を使ったランチや喫茶が楽しめる。
- ③市民農園「向日葵」の運営  
 1区画50㎡の畑と農機具の貸出しを実施。自社管理区画においては地元保育園に畑を無償提供するほか、学校へ農作業体験を提供し、子どもたちの農業に対する興味・関心を醸成している。
- ④「嶽きみ」加工品の開発・販売  
 廃棄されることが多かった2番果以降の旬の嶽きみを利用し、様々な加工商品の開発に取り組む。できる限り地元企業に商品製造を委託し、地域ともに活性化を図る。

概要

総合交流拠点として農産物直売所やレストラン、市民農園の運営、特産の「嶽きみ」の6次化、農泊施設を運営している。



岩手県紫波町 しわちよう

6次産業化

雇用

青森

秋田

岩手

山形

宮城

福島

株式会社紫波フルーツパーク かぶしきかいしゃ しわ

6次産業化による地域貢献



自園のワイン用ぶどう畑



約500名ワインオーナーの農作業体験



「自園自醸ワイン紫波」のワイン

取組の効果

【農家所得の向上】

- ・ワイン用ブドウ購入額 令和2年度 42,143千円
- ・原料不足が見込まれたので、生産者の圃場や栽培面積を17haまで拡張

【社会貢献】

- ・町の成人式出席者にワイン引換券を進呈

【研修の場】

- ・小学生の果樹に触れる勉強の場として受入れ
- ・中学生のブドウ作業体験の受入れ
- ・岩手県立農業大学校の実習受入れ
- ・大学生のインターンシップ受入れ

【コロナ禍での活動】

- ・令和3年度は、ワイン在庫が増加したので賞味期限のない強みを生かして、廃校になる地元の小学校の教室等を借用し、長期保管庫に改築して3年熟成ワイン(新商品)を販売する予定。

概要

当初のワインの販売目標5万本が10万本超の実績で農家所得の向上と贈答品などに寄与しました。